

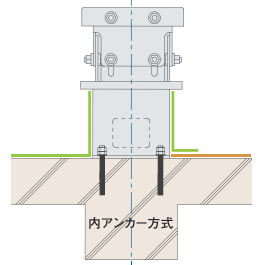
# 設備用鋼製基礎 ベルベース

## コンクリート基礎の問題点を解決

### ◎設置例

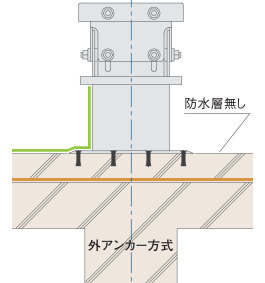
— 既存防水層 — 新設防水層

← 新築 (防水層新設) → 既築 (防水層補修)



内アンカー方式は、重量の大きい設置機器をスラブへ堅固に固定が可能

← 既築 (防水層新設) → 新築・既築 (防水層非干渉)



外アンカー方式は、既存防水層がある場合、防水層を貫通せずに基礎の取付けが可能



ベルベースA/内アンカー

水上用:H450~530  
水下用:H500~580



ベルベースA/外アンカー

水上用:H450~530  
水下用:H500~580



ベルベースC2

H400:360~440  
H450:410~490  
H500:460~540  
H550:510~590



ベルベースF

水上用:H450~530  
水下用:H500~580

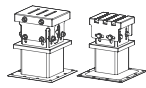
**工期が早い**

ベルベースは最短1日、工期末の援軍です

ベルベース  
(金属拡張アンカー)

設置

**1日で  
施工完了**

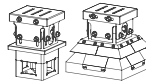


ベルベースA/外アンカー、  
ベルベースC2

ベルベース  
(接着系アンカー)

設置

**2日で  
施工完了**



ベルベースA/内アンカー、  
ベルベースF

コンクリート  
基礎

アンカー打設 > 配筋 > 型枠設置 > コンクリート打設 > コンクリート養生 > 型枠解体・搬出



2週間  
程度  
必要

※ベルベースとコンクリート基礎との工程表比較(例): 20個程度

**乾式工法**

乾式工法(ベルベース) × 湿式工法(コンクリート基礎) 精度の差は歴然

ベルベース(乾式工法)はコンクリート基礎(湿式工法)に対し、圧倒的に精度が優れます。

ベルベース(乾式工法)



工場生産品を設置



①下地へアンカーボルトを設置  
②操作窓から手を入れ、ベルベースを固定



③mm単位で高さ・水平調整後、完了

コンクリート基礎(湿式工法)



小規模工事ではコンクリートの揚重が大変




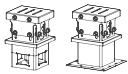

小規模工事の小型構造物では機械を用いた締め固めが面倒



手直しが発生しやすい。更に頭部へアンカーボルト穴の穿孔が必要

# 軽量化

$\frac{1}{10}$ の重さ (ベルベース/コンクリート基礎)

ベルベースC2	26~30kg		コンクリート基礎 小 重さ：約200kg 本体部：300×300 頭部：480×480 高さ：600
ベルベースA	39~48kg		コンクリート基礎 大 重さ：約500kg 本体部：500×500 頭部：900×900 高さ：600
ベルベースF	52~55kg		
コンクリート基礎	200~500kg		

# 防水を熟知



- ・確実な雨仕舞
- ・次回の防水改修にも配慮

# 豊富な実績



## 冬季施工に威力を発揮

コンクリート工事に制限がある、積雪寒冷地での冬季施工に威力を発揮します。



株式会社ベルテック (建材事業部)

- 本社 〒557-0054 大阪市西成区千本中2-12-20  
TEL. 06-6651-9200 FAX. 06-6651-9202
- 東京営業所 〒111-0031 東京都台東区千束1-10-10 ベルテック東京ビル  
TEL. 03-6802-1030 FAX. 03-6802-1031
- 名古屋営業所 〒465-0092 名古屋市名東区社台3-106-1  
TEL. 052-776-1801 FAX. 052-776-1555
- 福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-2-10 南近代ビル6F  
TEL. 092-434-5539 FAX. 092-434-5535



←QRコードでウェブサイトへアクセス

[www.vertec.biz/](http://www.vertec.biz/)